

# ごみゼロネット推進会（第6回）議事録

開催日： 2009年(H21年)2月16日(月)10:00～12:00

場所： ウエスト(新小金井駅前)

出席者： 平林、加藤、市原、大橋、加賀谷、伊藤、落井、武田、星、桐生(作成)

議題：

## 1. 「ごみゼロネット」新規掲載記事の説明(大橋)

2009/2/16付け「ごみゼロネットの会報告」(1頁)を配布し、PC2台にネットより当該個所を表示して説明。①非焼却方式によるごみ問題の解決法、②廃棄物処理法の内容表が大変なボリュームがあることはよく判った)、

討議内容：①実証運転で「受託しようとする業務の実施に関し相当の経験を有する者であること」のクリアーが難しそう、②「炭化」は「焼却」、「炭素化」は「非焼却」に入る、③「ごみ」と「資源化」は違う、「ごみ」は「燃やすごみ」に入れずに別分別にすれば処理法が明確になる(大橋、平林、加藤)、④共生菌叢は一度駄目になると再生に1ヶ月位かかる、⑤水分5%以下で微生物処理は止まる(発酵しなくなる)、⑥RPF(プラスチックを固定化した燃料)も売れていない。

## 2. 「主な可燃ごみの処理方法一覧」の説明(平林)

「焼却」「亜臨界水処理・共生菌叢処理」「高速真空化による酵素の活性化」「炭素化」の4方式の内容を図の4象限で表した1頁の資料を配布、説明。ごみ処理の全貌を一覧でき判りやすい資料。説明者は図をCAD化したと希望され、説明者より詳細な仕様をもらって加賀谷氏が引き受けることになった。

## 3. 「焼却炉方式ごみ処理施設の諸指標」の説明(桐生)

1頁の資料配布。渋谷清掃工場(200ト/日)と豊島清掃工場(400ト/日)の指標を平均して、1日100トの処理能力を持つ焼却炉方式清掃工場の諸指標①建設費、②敷地面積、③建築面積、④延床面積、⑤ごみ荷捌き場面積、⑥1日のごみ収集車累計数、⑦ごみ投入ゲート数、⑧職員数、を算定した。

## 4. 「炭素化ごみ処理方式の課題」の説明(桐生)

2頁の資料配布。①生産物「炭」の処理ルートはこれからの課題、②ごみの前処理(乾燥)は大きな課題、③300℃ゾーンで発生する塩酸の対策、④設備が高压容器として取り扱われる問題、について説明、討議した。

## 5. 市民学習会「生ごみは宝だ」聴講の報告(伊藤)

先日の市民学習会で行われた「NPO堆肥化協会瀬戸理事長」の標記講演の内容報告があった。要点は①燃焼方式で如何に有害ガスNO<sub>3</sub>を発生するか、②生物処理ならその危険ない、③循環型の持続社会に繋がる、④塩分は残留しない、添加物、農薬等は微生物が完全に分解、⑤堆肥化を通じて雇用が生まれる、等。

## 6. 「レジ袋に関する資料」の説明(加藤)

2頁の資料を配布。①レジ袋の生産・消費・廃棄②レジ袋の焼却、③レジ袋削減の意義、④レジ袋削減の手法、⑤容器包装リサイクル法の改正、⑥レジ袋削減の動き、等の説明。

## 7. 「ごみっと・SUN」の紹介と「市民ごみ大学セミナー」への参加勧誘(市原)

16頁の「ごみっと・SUN/No.70」の配布と、その活動の紹介と勧誘。「市民ごみ大学セミナー」への参加勧誘。

## 8. ごみ問題関連見学会の紹介

2月23日(月) 王子製紙江戸川工場の見学/13:00リサイクルセンター集合/ごみ対策課主催/再生紙の製造

上

次回打合せ 日時： 3月16日（月） 10：00～12：00 / 場所：ウエスト  
それまでの意見交換はメーリングリスト上で行う。